

Vol.244

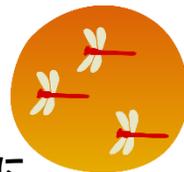


病院ホームページは

<https://www.mhi.com/jp/company/hospital/kobe/>

かけはし

理念

すべては患者様と  
地域社会のために

発行責任者 病院長 中村 吉貴

先生  
おたずねします

## 無症候性心筋虚血について

内科 (循環器内科)  
担当部長 中川 貴文

Q 無症候性心筋虚血とは、どのような病気ですか？

A 無症候性心筋虚血とは、心臓の筋肉（以降、心筋）に血液を送る動脈の冠動脈が、動脈硬化によって狭くなったり、詰まってしまったりして心筋に送られる血液が不足しているにもかかわらず、胸痛などの自覚症状がない状態のことです。高齢者や糖尿病の患者さんに多いと言われています。

Q 検査や診断はどのようにして行いますか？

A 頸動脈エコー、血圧脈波(ABI)検査、CT撮影における大動脈の石灰化の度合いなどから、冠動脈疾患が存在する可能性を評価します。

冠動脈疾患の可能性が高いと評価された場合、運動負荷心電図や心エコー検査、冠動脈CT、心臓カテーテル検査などを行います。症状がなくても、心臓カテーテル検査によって主要な冠動脈に中等度以上の狭窄を認める場合は、冠血流予備量比(FFR = 冠動脈の狭窄の度合いを示す指標)を測定し、虚血の有無を確認します。

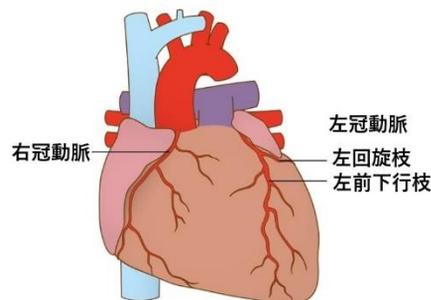
当院でも、この冠血流予備量比(FFR)測定を積極的に行い、適正な治療法を選択しています。

Q 治療法はどのようなものがありますか？

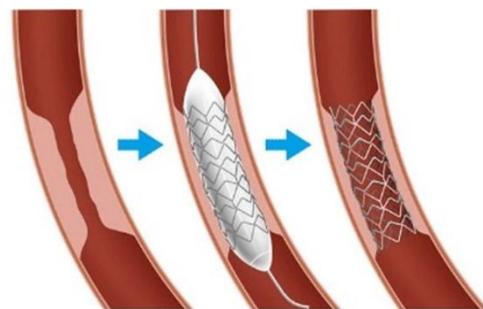
A 治療法としては、薬物治療と手術治療があります。手術治療としては、カテーテル治療(経皮的冠動脈インターベンション)と冠動脈バイパス術があります。冠動脈病変の部位や重症度、年齢、基礎疾患の有無などを考慮し、その患者さんに最も適した治療方法を選択します。

Q 日常生活での注意点はありますか？

A 日常生活においては、動脈硬化の進行を防ぐことが重要だと考えられます。動脈硬化のリスクとして喫煙や過剰な塩分、脂質などがあるため禁煙をし、塩分や脂質の取りすぎを控え、適度な運動を行うことも勧められます。



冠動脈の解剖



経皮的冠動脈インターベンション

当院では、心臓や血管の病気を専門としている循環器内科外来による診察を 月～金曜日 で行っております。



～お問い合わせ先～

内科受付：078-672-2619 (外線)  
8-63-22619 (内線)

## ☆認定看護師のちょっとためになるお話シリーズ 第2弾☆

当院の認定看護師(※)が、リレー形式で皆様に少しでもお役に立てるようなお話をお伝えして参ります。第2弾は、**認知症看護認定看護師の活動**についてのお話です。

(※) 日本看護協会が定める特定の専門分野において、実践経験を有し規定の教育を修めた上で審査に合格し、熟練した看護技術と知識を有していると認められた看護師のこと。5年毎に資格の更新が必要。

認知症看護認定看護師は、認知症の各期に応じたケアの実践や体制づくり、介護家族のサポートを行うとともに、認知症の行動・心理症状の予防や緩和、認知症の人にとって安全で安心な生活・療養環境の調整、看護師に対する指導・相談等の役割を担っています。

### 当院での認知症看護認定看護師の活動について

認知症看護認定看護師

田中 久美子・山根 栄美

医師・社会福祉士と「認知症・せん妄ケアチーム」として活動しており、当院には、現在2名の認知症看護認定看護師が在籍しています。病棟ラウンドにより、認知機能が低下している入院患者さんの状態を把握し、せん妄や認知症による症状の予防や緩和の方法についてアドバイスしています。また、認知症患者さんが安心して身体疾患の治療を円滑に受けられることができるようにサポートしています。

病棟では多職種でカンファレンスを実施しています。



入院しても日にちや今いる場所が分かるようカレンダーを貼り、患者さんと一緒に確認しています。



季節感を感じてもらえるように折り紙をつけるなどの工夫をしています。

### 認知症マフ

マフは筒状のカラフルにデザインされたニット製品です。認知症で手元が落ち着かず不安になる人に、マフに手を入れたりマフの内側や外側のアクセサリを触って気持ちを落ち着かせたり、目で見て楽しんだり、周囲とのコミュニケーションツールとして使用します。



#### こんな時に使ってもらっています！

- ・落ち着きなくソワソワする様子がみられる
- ・点滴などのチューブ類を気にする様子がみられる
- ・布団やベッド柵などをいつも掴んで離さない
- ・コミュニケーションが難しい方
- ・視力の低下など、外部からの刺激が少ない方



ケアを怖がり、布団をつかんで離さない人も、マフに触れていることで安心してケアを受けもらうことができます。

認知症患者さんにとって、入院生活が非日常であることを忘れず、安心できる環境で身体疾患の治療を受け、QOL(生活の質)を低下させることなく、早期に住み慣れた場所で生活できるようにご家族も含め支援していきたいと思えます。

## 新任医師紹介

本年9月19日より1名、同年10月1日より2名の医師が着任しましたので、ご紹介します。

### 内科 佐々木 優依

このたび岐阜県の病院より参りました。内科一般を担当させていただきます。患者さんに寄りそう医療ができるよう精進して参りたいと思います。よろしくお願ひいたします。



### 内科 福井 一弘

循環器内科の福井と申します。2023年度10月より診療に携わせていただきます。地域住民の皆様の健康をお守りできるよう努めて参りますので、お困りごとがあればお気軽にご相談ください。

### 内科 松山 裕

加古川の病院より参りました。内科の松山と申します。3カ月の短い間ではありませんが、少しでも皆様のお役に立てますよう努めて参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。



## トピックス

## 10月の院内講演会開催！

去る10月19日（木）に眼科横川医師による「正しく知ろう！緑内障」の院内講演会を開催し、多数の方にご参加いただきました。

今年度、当院では皆様に病院をより身近に感じていただくとともに、皆様の健康増進に寄与できるよう、毎月院内外を問わず講演会を開催しております。

次回は12月21日（木）に「大腸がん検診」というテーマで院内講演会を予定しております。皆様のご参加お待ちしております。



## 重要なお知らせ

マスクの着用は、厚生労働省から本年3月13日以降屋内・屋外を問わず個人の判断に委ねることを基本とした上で、医療機関の受診時はマスクの着用を推奨すると示されております。

当院では、現在もご来院の皆様には **院内での不織布マスク着用** をお願ひしております。

（健康診断を受診される際も、同様です）

ご理解・ご協力の程、宜しくお願ひ致します。



## 年末年始の開院日のお知らせ

12月28日（木）	→	通常通り開院
12月29日（金）		
12月30日（土）	⇒	休 院
1月 4日（木）		
1月 5日（金）	→	以降、通常通り開院

### お問い合わせ先

（病院代表） 078-671-7705  
（地域医療連携室） 078-652-8271